

# 三心を磨く

学校だより NO. 36 (最終号)

平成29年 3月15日 (水) 発行

須崎市立東中学校

文責：興 幸雄 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## 3学期終業式校長講話「3学期の一日一日」(3月14日)

48日間の3学期が終わります。1年の中でも、大変に短い学期でした。しかし、この僅かな日々の学校生活が、みなさんにとっても、東中学校にとっても、どんなに大切なものであったかは言うまでもありません。

私は、この最も短い3学期こそ、みなさん一人一人の成長ぶりがはっきりと目に見えて分かる学期であると考えています。なぜなら、1学期、2学期で学び、身につけたことが発揮される学期であると思うからです。

ただ今、発表してくれた代表の3名の話聞いて、ますます、その思いを強くしました。5月の校長講話で、私はみなさんに「有終の美」を飾れるように、自分で自分を誉めてやれるように、何か一つでも目標を立てて、この1年、やり通して欲しいと話しました。先日、ある生徒の斜面ノートに次のような記述がありました。「斜面をずっとやってきて、斜面に感想を書くなど、文章力もついたり、ニュースを知ることができました。そして1冊終わると達成感がありました。また、1からスタートをしっかり決めたいです」まさに「有終の美」を飾れたがんばりだと思います。全校のみなさんも、それぞれに課題はあるかとは思いますが、頑張った自分を誉めてやってください。

進路決定のための一日一日を過ごしてきた3年生。悩みながらも、人に流されることなく、自分の意志と考えをしっかり固めて、進路を自分で決めた3年生のみなさんの姿を見ていて、これから一人一人の生き方に、大いに期待したいと思います。

平成29年度に向けた東中学校を、生徒会を立ち上げるための一日一日を過ごしてきた2年生。加えて、修学旅行のための準備の一日一日を過ごしてきた2年生。みなさんの手で行われたモンゴル視察団の歓迎会、生徒総会、3年生を送る会、本当に見事でした。新年度のみなさんの生活とリーダーシップで、東中学校が新たな一步を踏み出すに違いないと確信しています。

新入生を迎えるために、上級学年になるための学年づくりの一日一日を過ごしてきた1年生。2学期までの学校生活を具体的に見返し、目に見える改善を実行している姿がありました。新入生説明会、3年生を送る会での説明や姿を目の当たりに、堂々と新入生を迎えられる上級生になれると、私は思います。

学年、個人ともに、それぞれ異なる目標ではあっても、その実現のために具体的に努力する姿が、来る平成29年度の東中学校の姿なのだと、私は思います。

最後に、私からみなさんにお願ひがあります。

明日は、卒業証書授与式です。1年生と2年生は、明日一日、すべてを3年生、78名の卒業生のためだけを考えてほしいと思います。そして3年生は、卒業生として、お家の方々や、家族ために、また、直接指導をしてくださった担任の先生、学年の先生、すべての先生のためだけを考えて、自分自身の卒業証書授与式に臨んで欲しいと思います。

私たち教職員も気持ちを一つにして、卒業生のために立派な卒業証書授与式を作り出したいと思います。

3学期、そして1年間本当にご苦労様でした。

自分以外のすべての方々に感謝して、私の話を終わります。

# お世話になりました

## 本年度転退職する職員の紹介

平成28年度末の人事異動で、以下の7名の職員が転退職することとなりました。

東中学校保護者・地域の皆さまには温かいご支援をいただきました。

勤務した期間に違いはありますが、東中学校の生徒のためにお力を尽くしてくださいました。本当にありがとうございました。

- 輿 幸雄 (教頭)  
→松本市立明善中学校へ
- 前川 和夫 (1年副担任・保健体育・生徒指導)  
→定年退職 平成29年度は本校に再任用
- 新津 朋典 (教務主任)  
→松本市立筑摩野中学校へ
- 安藤 利長 (3年1組担任・技術科)  
→千曲市立戸倉上山田中学校へ
- 荻窪 浩 (3年2組担任・理科)  
→長野市立広徳中学校へ
- 関澤 雪野 (家庭科・不登校等児童生徒支援)  
→長野市立吉田小学校へ
- 入澤 晶子 (スクールカウンセラー)  
→退職



本日、男子45名女子33名計78名の卒業生が、東中学校を巣立っていきました。

中学校の3年間は、生徒たちが、身も心も大きく成長するものと改めて感じさせられました。

1年間、本校の教育活動にご理解・ご支援をいただきまして、ありがとうございました。

4月になると、56名の新入生を迎えます。

平成29年度もよろしくお願ひ申し上げます。